

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	宮城文化服装専門学校
設置者名	学校法人 守末学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	服装科		1386	160	
	ファッションビジネス科		1470	160	
	ファッションデザイン科		1134	160	
	スタイリスト科		1554	160	
	ファッションスペシャリスト科		630	80	
	二部服装科	夜	900	90	
	ファッション技術専攻科	夜	1350	135	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ上にて公表 <a href="https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html">https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html</a>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	宮城文化服装専門学校
設置者名	学校法人 守末学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ上にて公表 <a href="https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html">https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html</a>
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	有限会社守末商事 代表取締役	2019年 1月27日 ～ 2021年 1月26日	下記項目に係る案件の審議と承認 (1) 予算・事業計画及び決算・事業報告 (2) (1)以外の重要な義務の負担 又は権利の放棄 (3) 合併・解散 (4) 役員・評議員人事 (5) (1)～(4)以外の重要事項
非常勤	宮城大学名誉教授	同上	同上
非常勤	株式会社ユーズ 代表取締役	同上	同上
非常勤	円達企業株式会社 代表取締役会長	同上	同上
非常勤	社会福祉法人 ウェルフェア仙台理事	同上	同上
非常勤	株式会社アドタイムズ 代表取締役	同上	同上
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	宮城文化服装専門学校
設置者名	学校法人 守末学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>(1) 学生に対してのヒアリング、ファッション業界の意見も参考に授業計画(シラバス)を作成。</p> <p>(2) 作成した授業計画を理事会・評議委員会に上程し、審議を経てから実施・公表。</p> <p>(3) 授業計画(シラバス)はホームページにも掲載。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページ上にて公表</p> <p><a href="https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html">https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>(1) 科目ごとに評価方法を設定。(課題提出、試験実施、授業態度、出席状況等)</p> <p>(2) 成績はすべて点数で評価する。</p> <p>(3) 60点以下は単位取得を認めない。ただし、出席日数や努力評価は上乘せ部分として加算する。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>第8条 授業科目の成績評価は、学年末において各学期末に行う試験、実習の成果履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その課目について評価を受けることができない。</p> <p>上記に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法を学生に公表し、全教科担当者からの成績報告を一覧表に集約し、成績順(総得点による降順)に並べ実態を把握し、結果を本人並びに保護者に通知する。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページ上にて公表  <a href="https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html">https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>(1) 履修すべき教科の出席時数が法定時数以上であること。  (2) 履修すべき教科の学年末評点が「60点」以上であること。  (3) 履修すべき教科の出席時数が、本則に定める授業時数合計に対しは2/3以上であること。  ※交通機関の運休、遅れ、インフルエンザ、忌引きについては欠席扱いとしない。  (4) 原則として既定の制作課題の100%の提出  ※100%に満たない場合、卒業判定会議において判定。  (5) 学納金完納が確認されていること。  上記を学生並びに保護者に公表し、卒業認定会議において認定された者が卒業できる。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>ホームページ上にて公表  <a href="https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html">https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	宮城文化服装専門学校
設置者名	学校法人 守末学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ上に公表 <a href="https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html">https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html</a>
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
服飾・家政		専門課程	服装科	専門誌				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼	2100 単位時間/単位	588 単位時間/単位		1512 単位時間/単位			
		単位時間/単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30人		32人	0人	2人	11人	13人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業計画を理事会・評議委員会に上程し、審議を経て実施している。 （1）学生に対してのヒアリング、ファッション業界の意見も参考に授業計画（シラバス）を作成。 （2）授業計画（シラバス）をホームページに掲載。
成績評価の基準・方法
（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることを学生に公表し、全教科担当者からの成績報告を一覧表に集約し、成績順（総得点による降順）に並べ実態を把握し、結果を本人並びに保護者に通知する。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることと、学納金完納が確認されていることが卒業（進級）の要件であることを学生並びに保護者に公表し、卒業（進級）認定会議において認定された者が卒業できる。
学修支援等
（概要）（1）クラス担任制（2）個別相談・指導等の対応（担任・学年・校長等カウンセリング）（4）個別相談（5）中途退学防止のための取り組み

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5人 (100%)	1人 (20%)	4人 (80%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 東京の文化服装学院に編入。ファッション業界（縫製、パタンナー）			
（就職指導内容） (1) 求人案内(東京及び東北6県約80社) (2) 個別相談①二者面談、履歴書等書類指導、模擬面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 洋裁技術認定中級取得、パターンメイキング技術検定3級取得			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
平成31年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） ③ 入学前の情報提供(具体的な専門学校生活を案内)②遅刻・欠席時の担任による事由確認③学生との面談④保護者との相談⑤放課後や長期休暇時の補講の提案(③～⑤の間に転科説明)		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	ファッションビジネス科	専門誌			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2100 単位時間/単位	546 単位時間/単位	単位時間/単位	1554 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		13人	0人	2人	11人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業計画を理事会・評議委員会に上程し、審議を経て実施している。 （1）学生に対してのヒアリング、ファッション業界の意見も参考に授業計画（シラバス）を作成。 （2）授業計画（シラバス）をホームページに掲載。
成績評価の基準・方法
（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることを学生に公表し、全教科担当者からの成績報告を一覧表に集約し、成績順（総得点による降順）に並べ実態を把握し、結果を本人並びに保護者に通知する。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることと、学納金完納が確認されていることが卒業（進級）の要件であることを学生並びに保護者に公表し、卒業（進級）認定会議において認定された者が卒業できる。
学修支援等
（概要）（1）クラス担任制（2）個別相談・指導等の対応（担任・学年・校長等カウンセリング）（4）個別相談（5）中途退学防止のための取り組み

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9人 (100%)	0人 (0%)	7人 (77%)	2人 (22%)
（主な就職、業界等） ファッション業界（販売職）			
（就職指導内容） （1）求人案内（東京及び東北6県約80社） （2）個別相談①二者面談、履歴書等書類指導、模擬面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） ファッションビジネス能力検定3級取得、洋裁技術認定中級取得			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
平成 31 年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) ④ 入学前の情報提供(具体的な専門学校生活を案内)②遅刻・欠席時の担任による事由確認③学生との面談④保護者との相談⑤放課後や長期休暇時の補講の提案(③～⑤の間に転科説明)		



分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	ファッションデザイン科	専門誌			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2100 単位時間/単位	504 単位時間/単位	単位時間/単位	1596 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		19人	0人	2人	11人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業計画を理事会・評議委員会に上程し、審議を経て実施している。 （1）学生に対してのヒアリング、ファッション業界の意見も参考に授業計画（シラバス）を作成。 （2）授業計画（シラバス）をホームページに掲載。
成績評価の基準・方法
（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることを学生に公表し、全教科担当者からの成績報告を一覧表に集約し、成績順（総得点による降順）に並べ実態を把握し、結果を本人並びに保護者に通知する。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることと、学納金完納が確認されていることが卒業（進級）の要件であることを学生並びに保護者に公表し、卒業（進級）認定会議において認定された者が卒業できる。
学修支援等
（概要）（1）クラス担任制（2）個別相談・指導等の対応（担任・学年・校長等カウンセリング）（4）個別相談（5）中途退学防止のための取り組み

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（1）求人案内（東京及び東北6県約80社） （2）個別相談①二者面談、履歴書等書類指導、模擬面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 洋裁技術認定中級取得、パターンメイキング技術検定3級取得			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
平成 31 年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
⑤ 入学前の情報提供(具体的な専門学校生活を案内)②遅刻・欠席時の担任による事由確認③学生との面談④保護者との相談⑤放課後や長期休暇時の補講の提案(③～⑤の間に転科説明)		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	スタイリスト科	専門誌			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2100 単位時間/単位	336 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1764 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		7人	0人	2人	11人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業計画を理事会・評議委員会に上程し、審議を経て実施している。 （1）学生に対してのヒアリング、ファッション業界の意見も参考に授業計画（シラバス）を作成。 （2）授業計画（シラバス）をホームページに掲載。
成績評価の基準・方法
（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることを学生に公表し、全教科担当者からの成績報告を一覧表に集約し、成績順（総得点による降順）に並べ実態を把握し、結果を本人並びに保護者に通知する。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることと、学納金完納が確認されていることが卒業（進級）の要件であることを学生並びに保護者に公表し、卒業（進級）認定会議において認定された者が卒業できる。
学修支援等
（概要）（1）クラス担任制（2）個別相談・指導等の対応（担任・学年・校長等カウンセリング）（4）個別相談（5）中途退学防止のための取り組み

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1人 (100%)	1人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 無認可の同分野他校に進学。			
（就職指導内容） （1）求人案内（東京及び東北6県約80社） （2）個別相談①二者面談、履歴書等書類指導、模擬面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 洋裁技術認定中級取得			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
平成 31 年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
⑥ 入学前の情報提供(具体的な専門学校生活を案内)②遅刻・欠席時の担任による事由確認③学生との面談④保護者との相談⑤放課後や長期休暇時の補講の提案(③～⑤の間に転科説明)		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	ファッションスペシ ャリスト科	専門誌			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	1050 単位時間/単位	336 単位時間 /単位	単位時間 /単位	714 単位時間 /単位	単位時間 /単位	
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10人		0人	0人	1人	11人	12人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業計画を理事会・評議委員会に上程し、審議を経て実施している。 （1）学生に対してのヒアリング、ファッション業界の意見も参考に授業計画（シラバス）を作成。 （2）授業計画（シラバス）をホームページに掲載。
成績評価の基準・方法
（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることを学生に公表し、全教科担当者からの成績報告を一覧表に集約し、成績順（総得点による降順）に並べ実態を把握し、結果を本人並びに保護者に通知する。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることと、学納金完納が確認されていることが卒業（進級）の要件であることを学生並びに保護者に公表し、卒業（進級）認定会議において認定された者が卒業できる。
学修支援等
（概要）（1）クラス担任制（2）個別相談・指導等の対応（担任・学年・校長等カウンセリング）（4）個別相談（5）中途退学防止のための取り組み

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（1）求人案内（東京及び東北6県約80社） （2）個別相談①二者面談、履歴書等書類指導、模擬面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 洋裁技術認定上級取得、パターンメイキング技術検定2級取得			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
平成 31 年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 人	1 人	1 0 0 %
(中途退学の主な理由) 中国人留学生。日本の環境によるアレルギー症状がひどく帰国。		
(中退防止・中退者支援のための取組) ⑦ 入学前の情報提供(具体的な専門学校生活を案内)②遅刻・欠席時の担任による事由確認③学生との面談④保護者との相談⑤放課後や長期休暇時の補講の提案(③～⑤の間に転科説明)		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	二部服装科	専門誌			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	1080 単位時間/単位	180 単位時間 /単位	単位時間 /単位	900 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		9人	0人	1人	4人	5人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業計画を理事会・評議委員会に上程し、審議を経て実施している。 （1）学生に対してのヒアリング、ファッション業界の意見も参考に授業計画（シラバス）を作成。 （2）授業計画（シラバス）をホームページに掲載。
成績評価の基準・方法
（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることを学生に公表し、全教科担当者からの成績報告を一覧表に集約し、成績順（総得点による降順）に並べ実態を把握し、結果を本人並びに保護者に通知する。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることと、学納金完納が確認されていることが卒業（進級）の要件であることを学生並びに保護者に公表し、卒業（進級）認定会議において認定された者が卒業できる。
学修支援等
（概要）（1）クラス担任制（2）個別相談・指導等の対応（担任・学年・校長等カウンセリング）（4）個別相談（5）中途退学防止のための取り組み

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5人 (100%)	1人 (20%)	4人 (0%)	4人 (80%)
（主な就職、業界等） 本校ファッション技術専攻科に編入。			
（就職指導内容） （1）求人案内（東京及び東北6県約80社） （2）個別相談①二者面談、履歴書等書類指導、模擬面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等））			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
平成 31 年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) ⑧ 入学前の情報提供(具体的な専門学校生活を案内)②遅刻・欠席時の担任による事由確認③学生との面談④保護者との相談⑤放課後や長期休暇時の補講の提案(③～⑤の間に転科説明)		



分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	ファッション技術専攻科	専門誌			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	夜		講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	1620 単位時間/単位	270 単位時間/単位	単位時間/単位	1350 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
		単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		1人	0人	1人	4人	5人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業計画を理事会・評議委員会に上程し、審議を経て実施している。 （1）学生に対してのヒアリング、ファッション業界の意見も参考に授業計画（シラバス）を作成。 （2）授業計画（シラバス）をホームページに掲載。
成績評価の基準・方法
（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることを学生に公表し、全教科担当者からの成績報告を一覧表に集約し、成績順（総得点による降順）に並べ実態を把握し、結果を本人並びに保護者に通知する。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることと、学納金完納が確認されていることが卒業（進級）の要件であることを学生並びに保護者に公表し、卒業（進級）認定会議において認定された者が卒業できる。
学修支援等
（概要）（1）クラス担任制（2）個別相談・指導等の対応（担任・学年・校長等カウンセリング）（4）個別相談（5）中途退学防止のための取り組み

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	1人 (100%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（1）求人案内（東京及び東北6県約80社） （2）個別相談①二者面談、履歴書等書類指導、模擬面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等））			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
平成 31 年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
⑨ 入学前の情報提供(具体的な専門学校生活を案内)②遅刻・欠席時の担任による事由確認③学生との面談④保護者との相談⑤放課後や長期休暇時の補講の提案(③～⑤の間に転科説明)		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料(年間)	その他	備考(任意記載事項)
服装科・ファッションビジネス科 ファッションデザイン科・スタイリスト科	150,000 円	468,000 円	469,000 円	その他内訳 入学選考料 10,000 円 施設維持費 170,000 円 教科書・洋裁用具代 107,000 円 教材費・研修費 182,000 円
ファッションスペシャリスト科	150,000 円	468,000 円	362,000 円	その他内訳 入学選考料 10,000 円 施設維持費 170,000 円 教材費・研修費 182,000 円
二部服装科	40,000 円	175,000 円	102,000 円	その他内訳 入学選考料 10,000 円 施設維持費 50,000 円 教科書・洋裁用具代 41,000 円
ファッション技術専攻科	40,000 円	175,000 円	60,000 円	その他内訳 入学選考料 10,000 円 施設維持費 50,000 円
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html">https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html</a>		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 宮城文化服装専門学校(以下「学校」)は、ファッション業界の社会的・経済的地位の向上を図り、業界の健全なる発展と、良質なサービスを利用者に提供することで人々の豊かな社会生活に貢献することを目的として、業界に求められている質の高い即戦力となる人材育成を行う。本校の教育理念である、「創造性の涵養、企業から必要とされる実践力の養成、知識と技術及び教養の修得、感謝と思いやりのある人格の形成」を具現化することを目途とし、教育活動を実施する。 企業や卒業生と連携し、学校の目的と教育理念に沿い、計画(授業・行事等)への取組の達成状況、学校運営への取り組みが適切に行われたかについて評価を行い、学校運営等の課題について、継続的に改善を図るとともに、評価結果を公表する。評価結果と改善の取組はホームページに掲載し社会へ公表する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
(株) ワールドストアパートナーズ	令和元年12月1日 ～令和3年11月30日	企業等委員
(株) ワールドストアパートナーズ	令和元年12月1日 ～令和3年11月30日	企業等委員
(株) 福装21	令和元年12月1日 ～令和3年11月30日	企業等委員
(有) モックプランニング	令和元年12月1日 ～令和3年11月30日	企業等委員・卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html">https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html</a>		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html">https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html</a>
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	宮城文化服装専門学校
設置者名	学校法人 守末学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		0人	0人	0人
内 訳	第Ⅰ区分	一人	一人	
	第Ⅱ区分	0人	0人	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				0人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)
------

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。